



広報

青空と緑と産業の町

昭和

12 月号

落ち葉に差す光
冬のはじまりを実感する師走の風景
光のみちを まっすぐ進む
来年もよい年になりますように

2012
No.422

Public Relations Choma
平成 24 年 12 月 1 日発行

町の鳥=ひばり 町の花=れんげ 町の木=乙女椿

目次 CONTENTS

- ふれあい温故知新事業…………… P2~5
- 年末年始の業務休止とごみ収集…………… P6
- 各種お知らせ…………… P7~9
(第6投票所移転、上下水道使用料一括納入ほか)
- 各種受賞報告ほか…………… P10~11
- まちのわだい…………… P12~13
- 各種たより(教育昭和、社協だよりほか) …… P14~24
- 暮らしの情報/川柳/スポーツ少年団紹介 P25~27

まちの動き

11月1日現在(前月比)

人口	18,468人	[597]	(+70 [+37])
男	9,361人	[247]	(+15 [+5])
女	9,107人	[350]	(+55 [+32])
世帯数	7,619戸	[286]	(+40 [+39])

*内、[]は外国人数

※平成24年7月9日から人口・世帯数は外国人住民を含んだ数となります。

ふれあい温故知新事業

昭和町の発展を支えた高齢者の方に感謝状を贈呈

〓 88歳の昭和町有功表彰者のお宅を訪問しました〓



～昭和61年頃の昭和町役場周辺～
町民体育館（左上奥）、押原中学校（左上）、中央公民館（中央上奥）、昭和町役場現庁舎（中央上）、役場旧庁舎（右上）、総合会館（中央下）、児童館（現押原児童館・中央下手前）

ふれあい温故知新事業とは、町政に多大な貢献をいただいた88歳の有功賞受賞者の皆様を町長が訪問し、昔の昭和町の話しを伺い、忘れつつある過去の昭和町の姿や苦労を次世代に伝える事業です。町では「故きを温ね新しきを知る」気持ちを大切に、これからのまちづくりを皆さんと一緒に考えていきます。今年度は、3名の方にお話を伺いました。

町の歴史年表

- 明治7年（1874年）西条村・清水新居村・西条新田村が合併して西条村となる
- 明治8年 築地新居村・飯喰村・河西村・右衛門宅
- 明治17年 押原尋常小学校開校（仏乗寺・妙源寺・本妙寺の3箇所に分散）
- 明治20年 押原小学校創立記念式（現在の場所に本館2階建て洋式校舎完成）
- 明治22年 西条村・押原村が合併しさらに大きな西条村となる
- 西条村と常永村による組合村を結び西条村常永村組合村となる
- 明治24年 人口1138人・戸数205戸
- 明治25年 押原尋常高等小学校と改称
- 大正12年（1923年）関東大震災
- 昭和3年 富士身延鉄道全線開通
- 昭和5年 源氏蛸が国の天然記念物に指定
- 昭和16年 大東亜戦争（太平洋戦争）（昭和20年）
- 昭和17年7月1日（1942年）西条村常永村組合村を解消し両村が合併して昭和村が誕生
- 昭和26年 西条が西条一区と西条二区に分かれる
- 昭和32年 甲府市上水道通水式
- 日本住血吸虫病撲滅のため用排水路のコンクリート化が始まる
- 昭和34年 台風7号・15号（伊勢湾）台風による家屋の被害甚大
- 昭和36年 小中学校給食室竣工・学校給食開始
- 昭和42年 押原小学校校舎・体育館竣工
- 昭和44年 村の木を「乙女椿」に決定
- 昭和45年 村広報の発行開始
- 昭和46年度（1971年）※以下、年度表記
4月1日・村制を改め昭和町が誕生（人口5814人・世帯1394戸）
- 中央公民館完成
- 市街化区域・市街化調整区域の線引き指定
- 昭和47年度 常永団地建設着工
- 昭和48年度 町の鳥を「ひばり」・町の花を「れんげ草」に決定
- 河東中島老人クラブで山伏川畔に桜を植樹

創刊から現在まで全ての広報は町ホームページ（http://www.town.showa.yamanashi.jp/）にてご覧になれます

気は優しくて力もち 地域の子どもたちを想う 温かいお人柄

野呂瀬 一郎さん
（西条一区）



『温故知新』…俺は好きだ
「温故知新…いい言葉だね。俺は好きだ」と出迎えてくれた野呂瀬さん。「85歳までは、そんなにえらいとは思わなかった。90歳、百歳まで生きられると思っただけ、85歳すぎたら、一日ごとに体がえらいとおっしゃいます。でも、笑顔で話をされている姿は、いまでも元気で、はつらつとしています。
役職就任中のお話を伺うと「苦勞してないから苦勞話はひとつもないだよ」と笑います。また、西条一区の人たちが、婿にきた野呂瀬さんを議会に推薦してくれてうれしかったと、感謝の言葉を述べられました。

道川の改修に奔走

思い出に残る事業は道川（注）の改修事業。早いうちから区画整理をしようとしたができなかったそうです。
しかし、道川は雨が降るとすぐに水がつき、これだけは改修をしなければ困ると思い頑張ったそうです。当時の区長さんが協力をしてくれて、話をまとめられたと教えてくれました。

待望の昭和保育園を開園

野呂瀬さんと言えば、やっぱり昭和保育園。当時、西条地区では、地域の保育園が閉園したため、小さな子を持つ親御さんが困っていたところ、野呂瀬さんに白羽の矢が立ったそうです。
最初は「俺にできるわけない」と思っていたが、「野呂瀬ならできる」と皆に言われ、保育園建設の決断をしたそうです。高額な費用負担が掛かり、経営がまわりつくのに大変だったそうですが、息子さん（現園長先生）夫婦が、頑張ってく



昭和保育園の元気な園児たち

れ、こまめにしてくれて、と喜んでいきます。
「一生のうちでも忘れられない仕事だ」と話してくれました。
よいとまけ、どっこいしょ
梨、ぶどう、桃、柿などを栽培していた野呂瀬さんですが、実は今住んでいる家



「よいとまけ、どっこいしょ」と言って建てた手作りの家

役は若いうちに

野呂瀬さんは、町議会議員や農業委員を歴任し、教育委員会委員（8年）や選挙管理委員も務められました。教育委員時代には給食費の口座振替も提言。
「役は若いうちにできるだけやったほうがいい。通り過ぎれば、いい経験になる。忙しくてもやった方がいい」と当時を振り返りながら、話してくれました。それから「女衆（奥さん）を大事にしるし」とも…。

「みなさんの尊い人生の時間の中で、私の話を聞いてくれてありがとう」とおっしゃる野呂瀬さん。お話を聴きしただけで、お話しを聴く時間の中に、いろいろな方々へのたくさんの感謝の言葉が添えられていて、野呂瀬さんの優しく温かい人柄を感じました。

道川…甲府昭和インター付近から国母駅南を通る川。都市下水路の一つとして昭和51年～54年施工。

故きを温ね新しきを知る

昔を学び未来へ繋ぐ

裸団士の原点に返らなければ：

町の生き字引は

今も町の将来を思います

泉 幸弘 さん

(紙漉阿原)



昭和の生き字引

「昭和23年役場へ入り、平成10年までの50年。一番の変動期だった。」と語る泉さん。激動期の昭和村役場に勤め、5人の村(町)長に任せ、自らも昭和町長を3期務めた泉さんは、昭和町の「生き字引」的存在です。

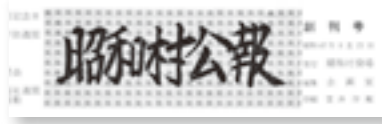
「いろいろあったが、良き時代だった。苦勞のし甲斐もあった」と数々の思い出を話してくれました。



初めて昭和町長に就任した際の当選証書

広報創刊号は「公報」?

今、皆さんが手にとっている広報誌。この広報を最初につくったのも泉さん。でも、創刊第1号の題字は「公報」だったそうです。これは間違いだと思いき、第2号から「広」に直したというおもしろいエピソードも伺いました。



復旧に取り組んだ伊勢湾台風

猛威を振るった昭和34年の7号台風と伊勢湾台風(注)。翌朝には役場職員全員で被害調査へ向かいました。

その後、被災者用の災害公営住宅を、紙漉阿原・西条二区・飯喰地区へと続けて建設。当時の役場(木造2階建て)の2階は、他県からの救援物資で一杯になったそうです。

「町民運動会」そして「ふるさとふれあい祭り」へ

災害復旧が落ち着いた頃、体育協会を設立してソフトボールやバレーボールの大会を開催。役場職員や学校の先生たちが始めた大会が、今も続いています。その後、町民の運動会も始めましたが区対抗の色合いが強くなってしまい、選手の手が足りなくなりましたという問題も…。

「それじゃ、新しい住民も増えてきたので、賑やかな交流の場をつくらうじゃないか」とスタートしたが、皆様おなじみの『ふるさとふれあい祭り』。新住民と

昔からいる人たちとの交流を深めるために、泉さんが町長時代に始めました。

裸団士のつきあいで原点に戻るとき

今川改修や圃場整備、工業団地造成や幹線道路の整備等々：数々の事業に取り組み、昭和の発展を担ってきた泉さんですが、役場に入った頃は、役場職員も17人程度。係も総務係と経済係しかなかったそうです。

「あのころは、職員も仕事が終われば互いに一杯飲みながら議論したもんだ。けんかしても、直に仲直り。『目的がこうだ』と言えば、最後には一致してまとまった。」と懐かしみます。

今はそんな時代ではない。隣近所の付き合いも変わった：と泉さん。「人間が利己主義になってくると、まともにならなくなってくる。物の尊さや苦しみは、一度ゼロになってみないとわからない。皆、原点に戻らなければだめ。お互いに裸団士のつきあいにすれば原点に戻れる。決して一人で偉くなったわけではない。自己中心的になっては困る」と力強く語る泉さん。

「俺の考え方が古いかもしれないが」とおっしゃいますが、人間関係が希薄になった今だからこそ、胸に響く言葉です。

7号台風・伊勢湾台風…
昭和34年8月(7号)、9月(伊勢湾)と相次ぐ台風が猛威を振るう。風の通り道となった昭和村は大きな被害を受け、災害救助法が適用された。

国を守り 村を守った半生 家族の応援のおかげと 感謝とともに振り返ります

河面 初男 さん

(西条二区)



厳しかった戦争体験

昭和19年、繰り上げ徴兵検査により高崎連隊に入隊。昭和20年上海へ。

ソ連(ソビエト連邦)軍の侵攻があったことから、敵襲に備え列車の警備に就いていたそうです。小銃弾が左から3発飛んできて交戦したこと、終戦後、病気になるってしまい、皆と一緒に引き上げられずに残ってしまったことなど、厳しかった戦争について語ってくれました。

半生をかけた消防団

河面さんが日本に戻ってきたのは、昭和22年のこと。それから3年経った昭和25年1月5日、河面さんは昭和村消防

団に入団しました。そして、その後31年の長きにわたり、地域の安全安心のために日夜尽くされてきました。その頃、消防団で、初めてポンプ車を購入。車両は、アメリカのフォード車を改造したものだったそうです。当時、車の免許を持っていた人はほとんどなく、運転手の交代に伴い、河面さんが免許を取得し運転をしたとのこと。

全国消防大会、防犯協会、ポンプ車操法で全国大会へ2回出場した時のもの：等々。消防団長を同じく6年経験した角野町長も見ることが無いほどの貴重なバッジ。輝かしいバッジを前に、「妹たちに『プローチにしろ』と言って、やってしまったものもあるよ」と河面さん。昭和34年、7号台風が来たのは団長就任時。自宅の仕事場にも水が流れたが、釜無川が氾濫する恐れがあるからと、とんで行ってしまった。「いっさら役にたたん」と息子に叱られたと笑います。たくさんの表彰状や感謝状を広げながら、「家族の応援があったからこそできた」と話してくれました。

今も輝く栄光と家族の支えの証

機長を含めて団員を21年。副団長を4年。団長を6年務めた河面さん。「俺の宝物がここにある」と言って、たくさん

語りつくせない思い出の数々 副団長をしながら地元区長の務めた河面さん。「両方じゃ大変だから駄目だ」といつか、どうしてもと言われて引き受けたそうです。1日に2回も火事があったことや、消火中に屋根から団員が落ちたことがを話した話、消防団の部長会議中に出勤したことなど、31年の団歴の中で起きた数々の出来事を話してください、町長との消防談話が盛り上がりました。

消防団活動中の出来事を語る河面さんの声は、歴史と伝統ある昭和町消防団のこれからの活躍と団員の安全を祈る想いが込められた力強いものでした。



団歴31年の輝かしいバッジの数々

蛇籠：川から水をくみ上げる際、ゴミと一緒に吸い込まないためにホースの先についているフィルター。

故きを温ね新しきを知る

- 昭和49年度 甲府ハイパス開通
- 昭和50年度 圃場整備事業終了(135ha)
- 昭和50年度 国勢調査(人口70000人・世帯1875戸)
- 昭和51年度 押原中学校新校舎(鉄筋4階建て)落成
- 源氏螢の天然記念物指定解除
- 昭和52年度 押原小学校校舎増築
- 昭和53年度 押原中学校プール完成
- 昭和54年度 町民体育館完成
- 甲府昭和インターチェンジ供用開始
- 地籍調査事業(昭和58年度)
- 昭和55年度 昭和町役場新庁舎竣工
- 町民憲章の制定
- 昭和56年度 昭和町歌選定
- 第1回町内一周駅伝開催
- 第1回福祉運動会開催
- 国母工業団地造成事業完成
- 昭和57年度 昭和ハイパス全線開通
- 中央自動車道全線開通
- 昭和58年度 第1回昭和町子供祭り開催
- 昭和59年度 昭和町立西条小学校開校
- 山梨県立甲府昭和高等学校開校
- 釜無工業団地公園運動場管理棟完成
- 人口1万人突破
- 地方交付税の不交付団体となる
- 昭和60年度 総合会館・児童館竣工
- 国勢調査(人口1万7000人・世帯3325戸)
- 昭和61年度 総合会館自噴温泉利用開始
- 塩部町開国橋線(通称アルプス通り) 甲府昭和ICまで開通
- 第41回国民体育大会山梨大会(かいじ国体)でボクシング競技を開催
- 昭和63年度 住民登録・印鑑証明等コンピュータ処理稼働
- 町記録映画完成(昭和26〜32年間の姿)
- 昭和64年1月7日 昭和天皇崩御
- 平成元年度(1989年) 第1回ふるさとふれあい祭り開催
- とふれあい祭り開催
- 保健休養施設リゾート昭和完成
- 第3小学校(現常永小) 用地取得
- 平成2年度 町立図書館完成
- 国勢調査(人口1万2548人・世帯4239戸)
- 平成3年度 西条児童館完成
- 平成4年度 常永児童館・常永公園・押原の杜・町立温水プール完成
- 平成5年度 中央自動車道昭和バス停開設
- 平成7年度 住民票・印鑑登録証明書自動交付機の設置
- 平成8年度 総合体育館完成
- 平成9年度 静岡県の相良町・御前崎町と防災協定を締結
- 平成10年度 60年ぶりの大雪で町内被害
- 平成11年度 住民登録人口が1万5千人を超える
- 平成12年度 国勢調査(人口1万5937人・世帯6227戸)
- 平成14年度 昭和町立常永小学校開校
- 平成15年度 昭和町・田富町・玉穂町の3町による任意合併協議会設立
- 平成16年度 住民意向調査による合併反対多数の結果を受け3町任意合併協議会より離脱
- 押原小学校新校舎完成
- 新学校給食センター竣工
- 平成17年度 リゾート昭和閉館
- 国勢調査(16764人・世帯6565戸)
- 平成18年度 児童センター開館
- 平成19年度 西条小学校校舎増築完了
- 押原中学校校舎増築・耐震化完了
- 平成20年度 地域交流センター完成
- 常永土地区画整理組合設立
- 平成21年度 新町宮住宅完成
- 旧杉浦邸を買収・保存着手
- 全国広報コンクールで町ホームページが総務大臣賞受賞
- 平成22年度 押原公園完成
- 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)(H23・3・11)
- 平成23年度 町制施行40周年
- 平成24年度(2012年) 現在



問い合わせ 昭和町選挙管理委員会 ☎275-8154

○第6投票所 新上河東区公会堂
(昭和町上河東168番地1 常永土地区画整理地内13-1街区16画地)

投票所が変更になります (上河東区公会堂)

上河東区公会堂が移転・新築されたことにより、第6投票区(河西区・上河東区・上河東二区)にお住いの皆様の投票所が変更になります。12月16日(日)の衆議院議員総選挙の際は、お間違えのないようお越しください。
なお、第6投票区以外の投票所は、変更ありません。
(期日前投票所は、従来どおり昭和町役場となります。)

年末年始の業務休止のご案内

町施設等の年末年始の閉庁・休館日

施設名	平成24年12月							平成25年1月					
	24日(月) <small>振替休日</small>	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金) <small>仕事納め</small>	29日(土)	30日(日)	31日(月)	1日(火) <small>元日</small>	2日(水)	3日(木)	4日(金) <small>仕事始め</small>	5日(土)
役場	閉庁						閉庁	閉庁	閉庁	閉庁			閉庁
中央公民館					休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	
総合会館(温泉以外)	休館					休館	休館	休館	休館	休館	休館		
総合会館 温泉	休業				休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
児童館・児童センター	休館				休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館		休館
図書館	休館				休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	
温水プール	休館				休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	
総合体育館		休館		休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館
スポーツ施設	休止				休止	休止	休止	休止	休止	休止	休止	休止	休止
彩の広場管理棟					休止	休止	休止	休止	休止	休止	休止	休止	休止
自動交付機								休止	休止	休止	休止		
火葬場(ふじかわ聖苑)									休業	休業	休業		

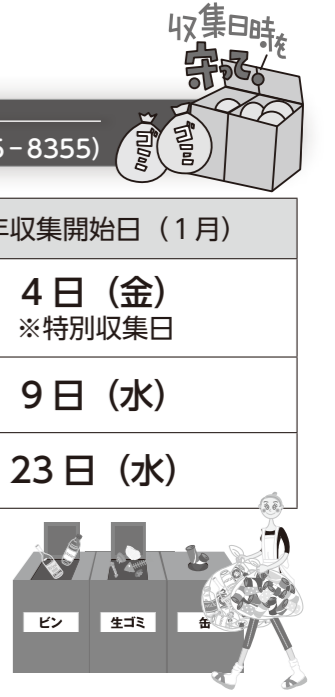
*年末年始期間中も、出生・婚姻・死亡届など、戸籍に関する届出は、役場の宿日直に提出できます。
*年末年始期間中の火葬場(ふじかわ聖苑)の予約業務は、休業中も受け付けています。
詳しくは、ふじかわ聖苑 ☎284-6375)まで、お問い合わせください。

年末年始のごみ収集日

問い合わせ 環境経済課 ☎275-8355

	年内収集最終日(12月)	新年収集開始日(1月)
燃えるごみ	29日(土) ※特別収集日	4日(金) ※特別収集日
不燃ごみ・缶類	19日(水)	9日(水)
粗大ごみ ※12月のみ「特殊ごみ」収集あり	19日(水)	23日(水)

◎年末はごみがたくさん出ますが、収集日を守ってごみを出しましょう。
◎その他プラ、発泡トレイ、空き瓶、新聞、雑誌、乾電池などの資源ごみは、各地区の資源回収ボックスに出してください。ボックスがいっぱいの場合は、家庭で保管し、1月4日(金)以降に出してください。
◎「剪定枝」など、その他のごみの収集日は、本誌カレンダー等をご覧ください。



上下水道使用料の納入が 一括になります

現在、昭和町では、「下水道使用料金」と「上水道料金」を、昭和町と甲府市上下水道局とへ、それぞれ納入いただいていた。このため、納入の負担軽減を図るため、平成25年4月から、下水道使用料の徴収事務を甲府市上下水道局へ委託し、利便性の向上を図ることといたしました。この委託により、町内の下水道使用料は、上水道料金と一括して納入いただくこととなります。
なお、一括納入の対象は、甲府市上下水道局の上水道給水区域となります。

○対象の方
・甲府市上下水道局給水区域の上水道のみ使用している使用者
・井戸水を使用している使用者
・井戸水と甲府市上下水道局給水区域の上水道を併用している使用者
・甲斐市の給水区域の使用者
・下水道排除量申請をされている使用者

詳しくは、昭和町役場下水道課管理係へお問い合わせください。

問い合わせ 下水道課 管理係 ☎275-8356

防災行政無線を用いた 緊急地震速報の 試験放送を行います

地震・津波や武力攻撃などの災害時に、国からの緊急情報を確実に国民へ伝えるため、全国一斉に防災行政無線を用いた緊急情報伝達手段の試験放送を行います。

○試験日時
12月3日(月) 午前10時15分頃

○放送内容
(チャイム)+(こちらは防災昭和です)+(只今から訓練放送を行います)+(緊急地震速報チャイム音)+(緊急地震速報。大地震です。大地震です。)+(これは訓練放送です)×3回+(こちらは防災昭和です)+(チャイム)

※災害の発生、気象状況等により試験を中止する場合があります。

(注)J-ALERT(ジェイアラート)とは、災害時に国から送られてくる緊急情報を人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムです。

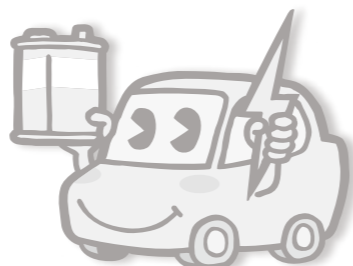
問い合わせ 企画財政課 行政係 ☎275-8154

山梨県心身障害者自動車燃料費助成金の 請求手続きについて

平成24年度(平成24年1月～12月分)の「山梨県心身障害者自動車燃料費助成金」の請求を次により受け付けます。該当する方は、いずれかの会場へご来場の上、手続きをお願いします。

助成対象者

平成24年度分の自動車税又は軽自動車税の減免を受けている方、もしくは平成25年度から減免を受けることができる方で、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A又は戦傷病者手帳特別・第1・第2項症に該当する方。



受付日程

○昭和町

受付日	時間	会場	
1月16日(水)	10:00～12:00 13:00～15:00	昭和町総合会館	2階相談室・講習室

○その他の会場

受付日	時間	会場	
1月8日(火)・25日(金)	10:00～12:00 13:00～15:00	甲斐市敷島総合文化会館	2階研修室
1月9日(水)・11日(金) 24日(木)・28日(月)	9:30～12:00 13:00～16:00	甲府市総合市民会館	1階多目的室
1月17日(木)	10:00～12:00 13:00～15:00	北杜市役所長坂総合支所	1階庁舎内
1月18日(金)・30日(水)	10:00～12:00 13:00～15:00	南アルプス市健康福祉センター (白根窓口サービスセンター)	2階大会議室
1月22日(火)	10:00～12:00 13:00～15:00	北杜市役所本庁舎(須玉)	1階会議室
1月29日(火)	10:00～12:00 13:00～16:00	北巨摩合同庁舎(葦崎)	1階大会議室

※受付期間は、平成25年1月8日(火)～2月8日(金)です。期間内に手続きをしない場合は助成金の支払はできません。
※中北保険事務所でも平成25年2月8日(金)までは受け付けますが、事前に連絡をお願いします。

持ち物

- 心身障害者自動車燃料費助成金請求書
- 身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳のいずれか(「減免申請済」と押印があるもの)
- 印鑑
- 減免の対象となった自動車等の自動車検査証
- 預金通帳
- 対象期間分の自動車燃料の領収書(請求者氏名が印字されているもの)及び購入量計算書、または支払証明書(購入先給油店から証明を受けたもの)
※購入量計算書、支払証明書には購入量を計算し、請求書に全て記入して持参してください。
※請求書、購入量計算書及び支払証明書の用紙は、各市町福祉課及び中北保健福祉事務所福祉課に備えています。中北保健福祉事務所ホームページからも印刷できます。

問い合わせ 中北保健福祉事務所 福祉課(☎237-1381)
昭和町役場 福祉課 障害福祉係(☎275-8784)

老人医療費助成制度廃止のお知らせ

山梨県では、「老人医療費助成制度」として、68歳・69歳で市町村民税世帯非課税の方を対象に、通常3割負担となる医療機関での自己負担額を1割に減額される医療費の助成制度を設けています。しかし、世代間の公平性の確保等の観点から、平成25年3月31日限りで廃止されることとなりました。

制度廃止にあたっては、影響を受ける受給者の激変緩和のため、平成27年3月31日までの経過措置が設けられます。詳しくは、町民窓口課 国保・年金係までお問い合わせください。

経過措置：平成25年4月1日から平成27年3月31日まで

項目	摘要
対象者	昭和20年3月31日以前生まれの市町村民税世帯非課税の方で、平成24年3月31日時点で老人医療費受給者証の交付を受けている方で、かつ、70歳に達する日の属する月の末日までの年齢の方
受給者証交付	経過措置期間中は、上記対象者に限り更新できます。 昭和町役場町民窓口課国保・年金係へご相談ください。
助成の対象となる診療期間	対象者ごとに終期は異なりますが、最長で平成27年3月31日診療分まで
未申請の診療分があった場合の受付期間	診療を受けた日から起算して2年間 ※制度廃止前の未申請の診療分も同様



Q&A (よくあるご質問)

- Q かなり以前に受診した診療の医療費の申請を忘れていたのですが、廃止前にかかった医療費は申請すると助成されますか？
- A 廃止以前に老人医療費受給者証をお持ちになっていた方であれば、診療を受けた日から起算して2年間は受付できます。
- Q 廃止後、経過措置期間中の申請方法に変更はありますか？
- A 申請方法は変更ありません。ご本人の印かんと医療機関から発行された領収書、預貯金の口座番号がわかるものを持参のうえ、申請してください。
- 問い合わせ 町民窓口課 国保・年金係(☎275-8264)

相談です

- ▶ **町長と語らいのとき**
日時：12月5日 (水)
午後1時30分～4時
場所：町長室
*あらかじめ総務課までご連絡ください
(☎275-8153)
- ▶ **消費生活無料相談**
日時：12月14日 (金)
午前10時～正午
場所：中央公民館2階
*直接会場へおこしください
問い合わせは企画財政課まで
(☎275-8154)
- ▶ **行政相談**
日時：12月19日 (水)
午後1時～3時
場所：中央公民館2階
*直接会場へおこしください
問い合わせは企画財政課まで
(☎275-8154)
- ▶ **教育相談**
日時：祝日を除く月・火・木の
午前9時～午後4時
場所：中央公民館2階
*直接会場へおこしください
問い合わせは町青少年育成カウンセラーまで (☎275-6951)
- ▶ **心配ごと相談**
・生活福祉資金相談
日時：12月12日・26日
(毎月第2・4水曜日)
午後1時30分～3時30分
場所：社会福祉協議会
*あらかじめ町社会福祉協議会までご連絡ください
(☎275-0640)
- ▶ **結婚相談**
日時：12月22日
(毎月第4土曜日)
午後1時30分～4時
場所：総合会館2階
*直接会場へおこしください
問い合わせは町結婚相談所まで
(☎275-1881)

お知らせ

- ▶ **ボカシつくり会**
日時：12月13日(木)
午後1時～
場所：総合会館裏
*問い合わせは環境経済課まで
(☎275-8355)

ご意見

- ▶ **町へのご意見箱(ホームページ)**
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/chosei/koe.php>
ご意見やご要望、日ごろ町政についてお気付きの事を町のホームページからお寄せください

「河西 花の会」が山梨県環境緑化表彰を受賞

10月20日(土)、河西区の「河西花の会」が第25回山梨県環境緑化表彰を受賞されました。

河西花の会は、河西区の区民が参加協力する団体で、昭和バイパス沿い約1kmにわたりコスモスを植え育て、地域の美化活動を行っています。きっかけは、昭和61年に開催された「第41回国民体育大会 かいじ国体」で沿道に花を植えたことが始まりで、その後も継続して花いっぱい沿道を維持してきました。地元では、「コスモス街道」の愛称で呼ばれ、親しまれています。

なお、同じ昭和バイパスの飯喰地内の沿道は、飯喰区の「飯喰花の会」が同様に維持管理しており、「飯喰花の会」は、平成8年度に同様の表彰を受賞されています。



河西区 区長 秋山正巳氏



第24回さわやか・第23回シニアふれあいゴルフ大会

9月27日(木)、北杜市のヴィンテージゴルフ倶楽部で「第24回さわやか・第23回シニアふれあいゴルフ大会」が開催されました。結果は次のとおりです。

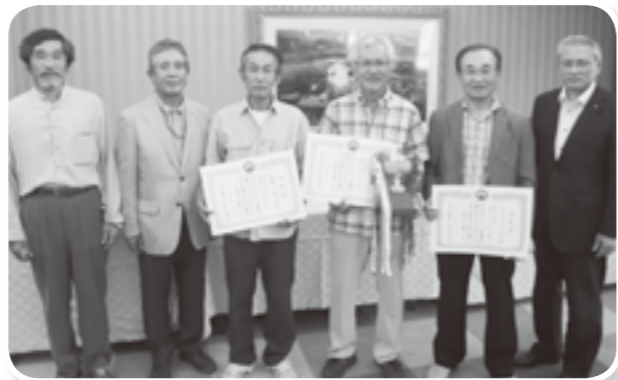


第24回さわやかふれあいゴルフ大会

- 優勝 荻野 順子さん
- 準優勝 吉川 秋恵さん
- 第3位 花形美枝子さん
- (参加者 11名)

第23回シニアふれあいゴルフ大会

- 優勝 永井 清司さん
- 準優勝 河野 正道さん
- 第3位 井口 芳浩さん
- (参加者 53名)



山梨県教育功労者表彰 受賞



山下宣行氏 (河東中島)

11月5日(月)、河東中島区の山下宣行氏が、山梨県教育功労者表彰を受賞されました。

山下氏は、長年、小学校教諭として子どもたちの教育にあたり、押原小学校長時代には、学校長として児童が学びやすい環境を整えることを常に考えた学校運営を実践し学校教育の充実に寄与されました。また、スポーツ少年団の結成や中巨摩郡ミニバスケットボール連盟の会長を務めるなど、社会教育の発展にも貢献されました。

今回、これらの功績が認められ受賞となりました。

民事調停委員最高裁判所長官表彰 受賞



柳澤保氏 (河東中島)

10月1日(月)、河東中島区の柳澤保氏が、民事調停委員として最高裁判所長官表彰を受賞されました。

民事調停委員は、一般市民から選ばれ、最高裁判所によって任命される非常勤の公務員で、裁判官とともに「調停」にあたります。調停は、訴訟に代わる紛争解決手段として、当事者双方の意見を聴き、双方が合意する円満な解決策を斡旋します。

柳澤氏は、平成11年4月から現在まで民事調停委員を務められ、長年にわたる功績が評価されて、今回の受賞となりました。

危険業務従事者叙勲 瑞寶雙光章 受章

11月3日(土・文化の日)、警察や消防など危険性の高い業務に貢献した方を対象とした危険業務従事者叙勲が行われ、今年9月に発足した元警察官のボランティア組織である「昭和町防犯・防災アドバイザー」を務められている、西条二区の加賀美忠氏と植村武次氏が受章されました。



植村武次氏 (西条二区)

植村氏は、警察官として40年勤務され、交通部門に長く勤務されました。

取材では、「事故や事件などがあると、昼夜関係なく家の電話が鳴って出動した。」と苦労を懐かしむとともに、「家族や先輩、同僚

などの支えのおかげ。」と感謝の思いを伺いました。

また、植村氏は、20年以上にわたって町の剣道スポーツ少年団の指導にあたられているほか、今年3月まで、町から児童の見守りのためのスクールガードリーダーを委嘱されるなど、地域の健全育成にも尽力いただいています。



加賀美忠氏 (西条二区)

加賀美氏は、警察官として38年勤務され、山梨県警察本部交通部長のほか、県内各署や警察庁勤務などを歴任されました。

取材では、「家族や上司、同僚など、皆さんのおかげで38年間、無事に勤め

上げられた。」「縁あって素晴らしい昭和町に居を構えられたことがうれしい。感謝の心で、地域や皆さんに恩返ししていきたい。」と、一層地域に貢献していきたいとの思いを伺いました。

なお、加賀美氏は、昭和町防犯・防災アドバイザーの会長を務められています。



ふるさと再発見ツアー

10月27日(土)、昭和町・甲府市・甲斐市・中央市で組織する甲府地区広域行政事務組合主催の「ふるさと再発見ツアー」が開催されました。

ツアーは、今年で9回目。昭和町では、西条新田区の「風土伝承館杉浦醫院」を見学し、親子で地方病の解明と治療に取り組んだ杉浦医師の足跡や、地方病の歴史に触れました。



もう行ってみましたか？

昭和農産物直売所「いーなとうぶ昭和」。皆さん、もう訪れてみましたか？ オープンから1カ月経った11月中旬には、昭和町特産の甘柿「富有柿」も並び、採れたての野菜や果物を求める人が訪れていました。

皆さんもぜひ足を運んでみてください。場所は旧JA常永支所の跡地です。



※先月号広報で10月11日(木)とお伝えした昭和農産部直売所の竣工日は、10月4日(木)の誤りでした。ここに訂正しお詫びいたします。

咲き誇る大輪の花

11月3日の文化の日に合わせ、西条二区菊の会では、恒例の菊の展示を行いました。大輪の菊の花が、義清神社社務所前に並べられ、色とりどりに咲き誇っていました。



水の運動会

9月17日(月)町立温水プールにおいて、第16回「水の運動会」が開催されました。

小学生を中心に大勢の方が参加し、赤・白・青組に分かれ、ボート競走や玉入れ競技などを行いました。

運営は、昭和町スポーツ推進委員・体育協会水泳部の皆さんにご協力いただきました。



交通安全に気を付けて！

9月21日(金)、町内の大型ショッピングモールで、秋の全国交通安全運動出発式が開催され、高齢者代表として上河東二区の有泉ハツエさんが交通安全を誓いました。

また、ロンドン五輪女子400mリレーに出場した佐野夢加さんが一日署長を務めたほか、第二上河東保育園児のお遊戯なども披露されました。

年の瀬を迎え、何かと気忙しい頃ですが、交通安全に気をつけましょう。



一日署長の佐野夢加さんと保育園児

交通安全宣言を読み上げました



まちのわだい

町内の「地域情報」を紹介するコーナーです。
あなたの身近な話題、お待ちしております！
(企画財政課 広報担当 ☎ 275-8154、kikaku@town.yamanashi-showa.lg.jp)

さかまい やまだにしき 酒米「山田錦」稲刈り



10月25日(木)・26日(金)、11月1日(木)、今年6月に植えた「酒米山田錦」の稲刈りが行われました。まちづくり自主活動グループ「人と環境すっきりしょうわ」の指導のもと、西条小学校、常永小学校、第二上河東保育園の子供たちが稲刈りを体験しました。取材に訪れた押原公園近くの田んぼでは、「田植えより、おもしろい！」と、楽しそうに稲刈りをしていました。

なお、収穫された酒米は、昭和町で採れた山田錦のお酒として清酒に加工されまます。また、甘酒もつくられるそうです。

大物、釣れたかな？

10月27日(土)、西条二区のかまだがわ社会福祉協議会主催の「親子ふれあいマス釣り大会」が開催されました。この大会は、親子のふれあいを深める場として赤い羽根共同募金による配布金で開催され、今年で21回目を迎えます。

当日は、親子連れなど、約200名の方が参加し、思い思いに釣り糸を垂らしては、マス釣りを楽しんでいました。



見て。釣れたよっ！

大勢の親子連れでにぎわった鎌田川

学びの秋

10月10日(水)、地域交流センターで、昭和町保護司会と押原中学校の連携事業として、押原中学校1年生を対象とした「健康福祉講話」が開催されました。「いのちをバトンタッチする会」代表の鈴木中人氏から、「いのちの授業～いのちのバトンタッチ」と題した講演が行われ、生徒たちは、かけがえのない命について真剣に耳を傾けていました。

また、10月25日(木)には、3年生を対象にした「やまなし人権啓発出前講座」が開催され、男女共同参画などの人権の考え方についても学びました。



健康福祉講話

やまなし人権啓発出前講座